

「小泉構造改革についての評価と地域再生策について」

1. 私は、小泉構造改革をすべて否定するものではない。金融機関の不良債権のスピーディな処理、道路公団の民営化、郵政民営化など、高く評価している。道路公団の民営化により、全国各地のサービスエリア(SA)は、トイレもきれいになり、レストランも大変おいしくなった(私の地元淡路SAでも観覧車が設置され、明石海峡大橋の雄大な姿を眺望できる)。しかも、今の休日上限1000円への値下げへの布石ともなった。やはり、民間の知恵を活かすことが大事だ。
2. 郵政民営化についても、引き続き推進すべきである。もちろん、田舎の郵便局で一部サービスの低下も見られることから、一定の手直しは必要だが、約200兆円もの巨大な金融機関である郵貯は、その資金を民間の知恵で有効に運用してもらいたいし、これまで全く収めていなかった税金についても、去年は初めて約4200億円もの税金を国に収めた。これは新たな医療や福祉の財源にもなるわけで、民営化の大きな成果である。
3. さらに、東京を世界最先端の国際金融都市にするために、引き続き規制を大幅に緩和し、自由化していくことも大事だ。また、IT分野でも、例えば携帯電話での様々なサービスが可能となったが、これまで以上に思い切った規制緩和を行い、新しい商品やサービスを生み出し、私たちの生活がより一層、便利に豊かになることも期待したい。
4. その一方で、地方の経済は、行き過ぎた規制緩和や大幅な予算削減により、想像以上に疲弊している。仕事は減り、医療費などの負担は上がり、多くの家庭で家計のやりくりが苦労されている。そして、日本社会の真髄である「地域共同体」

までが壊れかけている。日本の地域社会は、地域の伝統文化を大切にしながら、家族の信頼関係、地域の人と人とのつながり、相互扶助といった「連帯」感によって成り立ってきた。そこでは、子供たちは、年長の人を敬い、お祭りなどを通じて共同作業の大切さなど、基本的な道徳も自然に身に付けてきた。

5. しかし、行き過ぎた規制緩和により、効率性や競争原理が最優先され、地域の商店街はシャッター通りになり、「金がすべて」の拝金主義により、この「地域共同体」まで壊されようとしている。年長の人を敬う気持ち、家族の信頼、皆んなで力を合わせて行なう共同作業、こうしたものが壊れかけている。しかも、社会保障費の増加の2200億円削減を続けたことにより、医師不足、医療や福祉の負担が増え、地域の安心感さえ喪失している。私は、こうした「地域共同体」を守りながら、地方再生を最優先の課題として取り組みたいのである。地域に安心と希望を取り戻したいのである。サラリーマンの息子として、田舎の市営住宅(長屋)に育ち、奨学金をもらって大学に進学させて頂いた私にしかできないことである。地方の方も皆さんに安心と希望を取り戻したいのである。

6. 経済のグローバル化に対応しながら、日本経済の国際化、自由化を進め、環境・新エネルギー、IT、バイオなどの新しい産業も育てなければならないのは言うまでもない。日本には世界に誇るモノづくりの技術もある。国際競争力強化、そして雇用拡大・賃金アップのためにも思い切った法人税減税が必要だ。そして、開かれた国として、海外からの投資や技術を持った外国人、そして留学生もどんどん日本に呼び込み、経済・社会を活性化していくことも大切だ(ただし、外国人参政権付与には反対である)。

しかし、その一方で、地方への目配りが何より大切である。日本社会の基礎である「地域共同体」を守りながら、地方再生のためのあらゆる政策投入が喫緊の課題である。

7. ちなみに、地域再生のための政策の一例を挙げれば、次のようなものが考えられる。

農業・水産業の経営安定化。これは、民主党の政策のように一律の対策ではなく、地域の事情に応じたキメ細かな、しかし簡潔でわかりやすい制度の構築が急がれる。中山間地域の直接支払い制度や農地、水、環境事業など、集落の共同体ごとに取り組む支援策をさらに提案しながら経営安定策につなげていきたい。

農商工連携。厳しい環境の商店街ではあるが、商売人さんにはやはり商売の知恵がある。みんなで知恵を出し合っただけでなく、地域の名産品や新しいお土産品の開発を支援したい。これは、観光開発にもつながる。さらには輸出開始・強化などしっかり応援したい。

防災・環境など必要な公共投資の確保(もちろん、無駄な公共事業はやめて、その分は医療や福祉など社会保障の財源にしなければならない)。

地域医療の充実。社会保障費の予算をしっかりと確保し、医師の確保や救急医療体制の整備が急がれる。医学部の定員を増やすのは当然であるが、早急に、地域毎に、大学病院、県立病院、市立病院、民間病院、開業医のネットワークを築くことが大事だ。例えば、開業医の耳鼻科の若い先生が、医師のいない大学病院で手術を行なうことを可能とするような連携が大切だ。

教育再生。地域や国を担う人材をしっかりと育む。地域のお祭りなどにも参加し共同作業の尊さや、年長の人を敬う気持ち、道徳心も養いながら、自然の中で

大きく大きく育ててもらおう。そして、中学2年生の職場体験などを通じ、健全な職業観、家族観を醸成する。奨学金制度もしっかり充実させる(ちなみに、中学2年生の職場体験は、もともと兵庫県において「トライやるウィーク」として始めたものを、初当選後、私が同期の仲間とともに提案し、全国で実施するよう予算化したものである)。

以上のような地方再生策について、地域の皆さんの声、アイデアをお聞きしながら、自分たちの頭で政策をつくり、議員立法、国会論戦などを通じて実現を目指していきたい。